

事業の概況

■ 経営環境

■ 経済情勢

平成27年度の日本経済は、円安や原油安を背景に企業業績や雇用環境の改善が続きましたが、輸出や個人消費の伸び悩みに加え、新興国・資源国経済の先行き不透明感の高まりから景気後退リスクが懸念され、景気の回復は緩慢な動きにとどまりました。

また、新潟県内の景気も、輸出や生産の伸び悩みから、緩やかな回復となりました。

■ 農業情勢

農家戸数の減少により、生産基盤の弱体化や農業生産額の減少が進む一方、農家組合員の世代交代や農業経営の大規模化が進行しました。

また、米価については、飼料用米等の取組みにより一定の回復が図られたものの、依然として低水準にあり、農家経済は厳しい状況となりました。

■ 金融情勢

企業部門の資金需要低迷が長期化するなか、他金融機関による農業分野への攻勢拡大など、これまで以上に農業分野・リテール分野での競争が激化しました。

また、日銀による「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」の導入を受け、金融機関における収益への先行き懸念が高まりました。

■ 平成27年度の業績

■ 主要勘定の推移

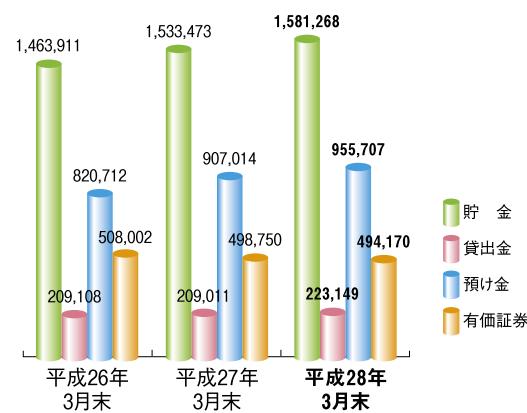
(単位:百万円)

	平成26年3月末	平成27年3月末	平成28年3月末
貯 金	1,463,911	1,533,473	1,581,268
貸 出 金	209,108	209,011	223,149
預 け 金	820,712	907,014	955,707
有 価 証 券	508,002	498,750	494,170

・貯金残高(譲渡性貯金を含む)は、県下JAからの預け金の増加に加え、地方公共団体等の貯金獲得に取り組んだ結果、前年比477億円、3.1%の増加となりました。

・貸出金残高は、営業基盤の確立と収益力の強化に向けて融資伸長に取り組んだ結果、前年比141億円、6.7%の増加となりました。

・有価証券残高は、低金利環境が一段と進行するなか、リスク管理と収益性に留意しつつ、債券を中心に運用を行ったものの、償還額が多く、前年比45億円、0.9%の減少となりました。

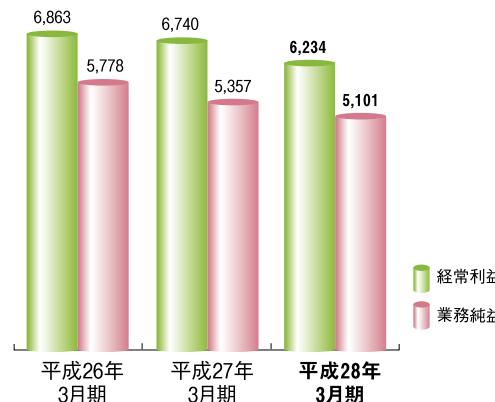


■ 収益等の推移

(単位:百万円)

	平成26年3月期	平成27年3月期	平成28年3月期
経 常 収 益	19,290	19,492	19,914
経 常 費 用	12,427	12,752	13,680
経 常 利 益	6,863	6,740	6,234
当 期 剰 余 金	5,404	5,448	4,991
業 務 純 益	5,778	5,357	5,101

・効率的な資金運用により、経常収益は増加したものの、市場関連費用の増加等による経常費用の増加から、経常利益は、前年比5億円、7.5%の減少の62億円となりました。



■ 単体自己資本比率の推移

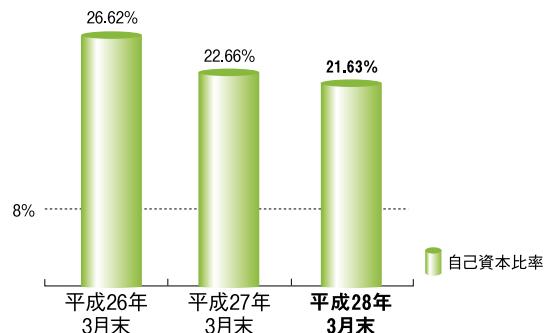
(単位:百万円、%)

	平成26年3月末	平成27年3月末	平成28年3月末
自己資本額(A)	147,259	145,743	143,633
リスク・アセット(B)	553,093	643,049	663,910
自己資本比率=(A)÷(B)×100	26.62	22.66	21.63

・自己資本比率は、26年3月末よりバーゼルⅢに基づく新国内基準により算出しています。

・系統向けリスクアセットの増加を主要因に、自己資本比率は、前年比1.03ポイント低下し、21.63%となりました。

・国内基準(4%)および国際統一基準(8%)を大きく上回り、高い安全性・健全性を維持しています。

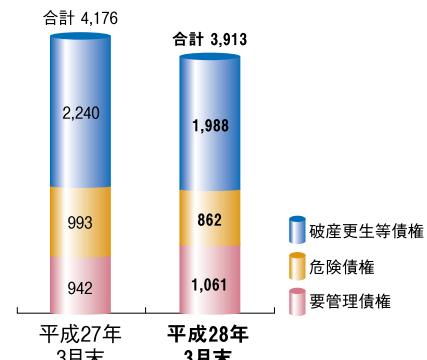


■ 金融再生法開示債権(単体)の推移

(単位:百万円、%)

債権区分	平成27年3月末	平成28年3月末	増減額
破産更生等債権①	2,240	1,988	△252
危険債権②	993	862	△130
要管理債権③	942	1,061	119
小計(①+②+③=A)	4,176	3,913	△263
正常債権④	211,860	225,718	13,857
債権額合計(A+④=B)	216,036	229,631	13,594
債権額に占める開示債権の割合(A÷B×100)	1.94	1.71	△0.23

・不良債権比率は、不良債権額の減少と正常債権額の増加により、前年比で0.23ポイント改善し、1.71%となりました。



不良債権比率
1.94% → 1.71%

■ 対処すべき課題

平成28年度は、JAバンク新潟の中期戦略および当会の第16次中期経営計画の初年度であり、向こう3年間の取組みの基点となる重要な年度であるとの認識に立ち、農業情勢・金融規制及び日銀によるマイナス金利政策等の環境変化に適切に対応しつつ、強靭なJAバンク新潟の実現に向け、以下の事項を課題として認識し、重点的に取り組むことで、会員JAへの充実した機能還元と安定的な利益還元に努めてまいります。

■ 農業所得の増大

変化する農業情勢に対応し、JAと信連が連携し、各々の役割を發揮することで、農業者の所得増大に向けて、積極的な支援に取り組みます。

また、「担い手サポートセンター」との連携と農業金融センター機能の更なる強化により、農業メインバンクとしての地域シェア維持・向上を目指します。

■ JA事業基盤の拡充

JAバンク新潟の事業量を拡大し、信用事業収益を確保するとともに、地域シェアを拡大し地域金融機関としての存在感の向上を図ります。

また、JAの事業利用を通じて農業の発展・地域の活性化に貢献している准組合員を「農業や地域を共に支えるパートナー」と位置付け、金融機能を通じて農業への理解深耕に努めます。

■ 地域の活性化と安定収益の確保

食農関連企業をはじめとした地元企業に対する適切な資金供給やビジネスマッチング支援により、地域経済の発展に貢献します。

また、金融市场の変化に適確に対応し、収益力の維持・向上に努め、安定的な利益還元を継続します。

■ 経営基盤の強化

著しい社会情勢の変化に対し、組織として柔軟性とスピード感を持ち、適確に対応していくため、当会の組織力、人材、資本などを最大限活用することで経営基盤を強化し、当会がより強固な組織となるべく努めます。